

木彫家・中平四郎

佐藤 聖

日本聾史学会運営委員

大正時代後期から昭和時代初期に開催された日本美術院展覧会に通算 16 回の入選を果たした聾木彫家が実在した。

<目的>

世の中では、富岡鉄斎、青木木米の作品がよく知られているのに、中平四郎の作品は風化されつつあって、あまり見かけない。その作品の所在を明らかにする為に調査したいと思った。

<生い立ち>

中平四郎（なかへいしろう）1891-1949

明治 24（1891）年 12 月 26 日生まれ。群馬県邑楽郡小泉村（現在の大泉町）の農家・中啓十郎の四男。明治 39（1906）年、小泉高等小学校中退。その後、家業の農業を手伝う。

大正 2（1913）年、上京し、木彫家・川上邦世の門下生となる。

大正 13（1924）年、日本美術院展覧会初入選。

昭和 3（1928）年、日本美術院研究会員となる。

昭和 11（1936）年 9 月 18 日、日本美術院院友に推挙される。

昭和 14（1939）年、結婚。

昭和 15（1940）年、長女誕生。

昭和 17（1942）年、長男誕生。

昭和 24（1949）年、小泉に戻る。長男逝去。

同年 9 月 5 日没。57 歳。常光寺に埋葬される。

没後の昭和 28（1953）年、銅像が建立される。

<作品>

大泉町立図書館、大泉町文化むら等にて公開されているので、自由に見学できる。

【日本美術院展覧会に入選した作品】

再興第 11 回（大正 13 年） 讀賣
再興第 13 回（大正 15 年） 北海道の熊
再興第 14 回（昭和 2 年） 牡牛
再興第 15 回（昭和 3 年） 獅子
再興第 15 回（昭和 3 年） 種牛
再興第 16 回（昭和 4 年） 水牛
再興第 18 回（昭和 6 年） 水牛
再興第 20 回（昭和 8 年） 牛

再興第 21 回（昭和 9 年） 猿
再興第 23 回（昭和 11 年） 兎
再興第 23 回（昭和 11 年） 山の湯
再興第 24 回（昭和 12 年） 横坐婦
再興第 25 回（昭和 13 年） 静
再興第 26 回（昭和 14 年） 虎
再興第 28 回（昭和 16 年） M 氏像
再興第 30 回（昭和 18 年） こども

後述する展覧会にも入選した。巽画会（1 点）、日本美術院試作展覧会（14 点）、聖徳太子奉賛美術展覧会（2 点）、日本美術院小品展（1 点）。

<没後の展覧会>

昭和 28（1953）年、中平四郎遺作展開催。（出品 20 点）昭和 59（1984）年、中平四郎作品開催。（出品 61 点）その後、展覧会が 2 回行なわれた。

平成 22（2010）年 12 月、群馬県立館林美術館で「群馬県大泉町に生まれた木彫家中平四郎-師、川上邦世とともに」開催。52 点展示された。

出品に協力しなかった所蔵者の行方が気になるし、間違えて廃棄・紛失されてしまう恐れがあるので、心ある人々はそれを心配している。

散逸してしまった作品がひとつでも多く発見されることを願い、今後も調査を続けていきたいと思う。作品の所在について情報をお持ちの方がおられましたら、是非ご教示をお願いする次第である。

【参考文献】

日本美術院百年史
中平四郎小伝
群馬の美術ものがたり
郷土に光をかかげた人々 1 巻
上州奇人伝
郷土の芸術家 中平四郎